



# 試 験 報 告 書

発行番号：品性第17C0068号

発行日：平成29年5月24日

依頼者

日本ヒルティ株式会社

神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南2-6-20

試験名称

あと施工アンカー「HIT-RE500 V3」の引張試験

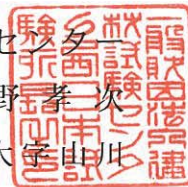
標記試験の結果はこの文書のとおりです。

一般財団法人建材試験センター

西日本試験所長

真野

山口県山陽小野田市大字山



## 品質性能試験報告書

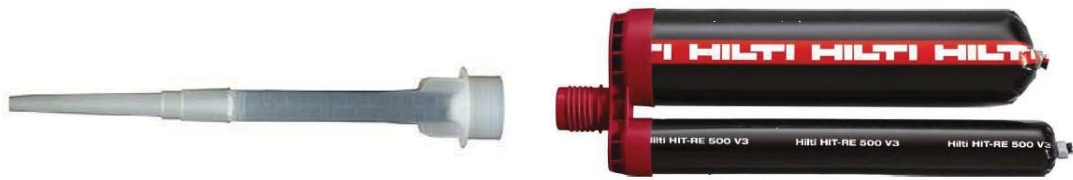
試験名称	あと施工アンカー「HIT-RE500 V3」の引張試験									
依頼者	日本ヒルティ株式会社									
試験項目	試験体		アンカー		穿孔		母材コンクリート		数量 本	
	記号	番号	アンカー筋	材質	径 mm	深さ mm	呼び強度	記号 No.		
	引張	D10-70DD	1~3	D10	SD295A	12	70	24	19	各3
		D13-95DD	1~3	D13	SD295A	15	95	24	18	
		D16-115DD	1~3	D16	SD295A	20	115	24	17	
		D19-135DD	1~3	D19	SD345	25	135	24	17	
D25-175DD		1~3	D25	SD345	32	175	24	17		
<p>(注) 試験体記号の内容を以下に示す。</p> <p>穿孔方法：コア 番号：1~3</p> <p>(例) D10-70DD-1</p> <p>穿孔深さ：70, 95, 115, 135, 175 アンカー筋：D10, D13, D16, D19, D25</p> <p>参 照： 図-1 (「HIT-RE500 V3」の詳細) 図-2 (アンカーの埋め込み位置) 表-1 (母材コンクリートの配(調)合)</p>										
試験方法	<p>準拠規格：あと施工アンカー標準試験方法・同解説 (一般社団法人 日本建築あと施工アンカー協会)</p> <p>加力装置：センターホール型油圧ジャッキ，センターホール型ロードセル（容量：100kN，200kN 及び500kN）反力台，反力用鋼材，鋼板，球座及びテンションバー 圧縮試験機（最大秤量：2000kN）</p> <p>測定装置：電気式変位計（容量：50mm，感度：<math>200 \times 10^{-6}</math>/mm，非直線性：0.1%RO），データロガー</p> <p>参 照：写真-1（試験実施状況）</p>									

つづく

つづき

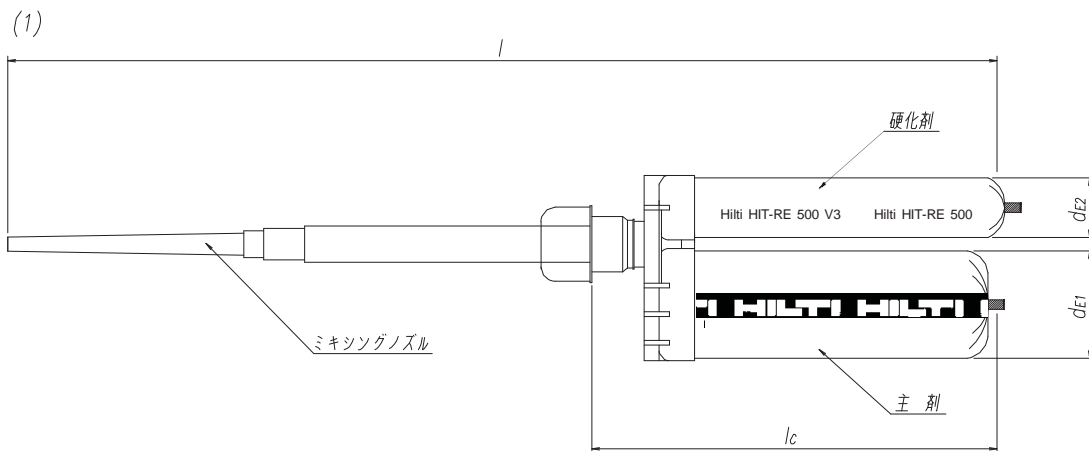
試験項目	試験体		最大荷重時		破壊モード	母材コンクリートの圧縮強度 <sup>*1</sup> ( $\sigma_c$ ) N/mm <sup>2</sup>	
	記号	番号	荷重 ( $P_{max}$ ) kN	変位 ( $\delta_{max}$ ) mm			
試験結果	引張	D10-70DD	1	34.3	7.0	C	36.8
			2	34.4	9.5	C	
			3	34.6	9.8	C	
			平均	34.4	8.8	-	
		D13-95DD	1 <sup>*2</sup>	66.2	-	C	36.8
			2 <sup>*2</sup>	66.1	-	C	
			3	65.3	10.6	C	
			平均	65.9	-	-	
	D16-115DD	1 <sup>*2</sup>	97.6	-	C	37.2	
		2	96.2	14.8	C		
		3 <sup>*2</sup>	97.8	-	C		
		平均	97.2	-	-		
	D19-135DD	1 <sup>*2</sup>	164.0	-	C	37.2	
		2 <sup>*2</sup>	162.9	-	C		
		3 <sup>*2</sup>	159.2	-	A		
		平均	161.7	-	-		
	D25-175DD	1 <sup>*2</sup>	251	-	A	37.2	
		2 <sup>*2</sup>	260	-	A		
		3 <sup>*2</sup>	240	-	A		
		平均	250	-	-		
	(注) 1. 破壊モード欄の記号は、次の内容を示す。 A: コーン状破壊 B: アンカー筋抜け C: アンカー筋破断 2. *1 は、母材打設時に作製した、試験体 ( $\phi 100 \times 200$ ) 3本の平均値を示す。 3. *2 は、変位計を破損する恐れがあったため、途中から荷重のみ測定を行った。 参 照: 図-3~図-7 (荷重-変位曲線) 写真-2~写真-16 (破壊状況)						
	備考	参 照: 表-2 (穿孔深さ実測値) 図-8及び図-9 (施工手順)					
	試験期間	平成29年 5月16日					
	担当者	試験課長 山 邊 信 彦 早 崎 洋 一 (主担当) 森 田 洋 介 品 末 竹 彦					
試験場所	西日本試験所 山口県山陽小野田市大字山川 TEL 0836-72-1223						

・仕様図



ミキシングノズル部

本体部 (フォイルパック)



1. 本体・ミキシングノズル

[単位：mm]

名称 HIT-RE 500 V3	全長 $l$	本体部長さ $l_c$	主剤部 外径 $d_{E1}$	硬化剤部 外径 $d_{E2}$
フォイルパック 330ml	440.0	185.0	45.0	25.0
フォイルパック 500ml (特注品)	500.0	245.0	45.0	25.0
ジャンボフォイルパック 1400ml	490.0	235.0	85.0	50.0

2. 樹脂

	樹脂成分	容 量(ml)		
		フォイルパック 330ml	フォイルパック 500ml (特注品)	ジャンボフォイルパック 1400ml
・主 剤	ビスフェノール A/F 系エポキシ樹脂	245.0	380.0	1050.0
・硬化剤	脂肪族ポリアミン	85.0	120.0	350.0
合計樹脂容量		330.0	500.0	1400.0

図-1 「HIT-RE500 V3」の詳細

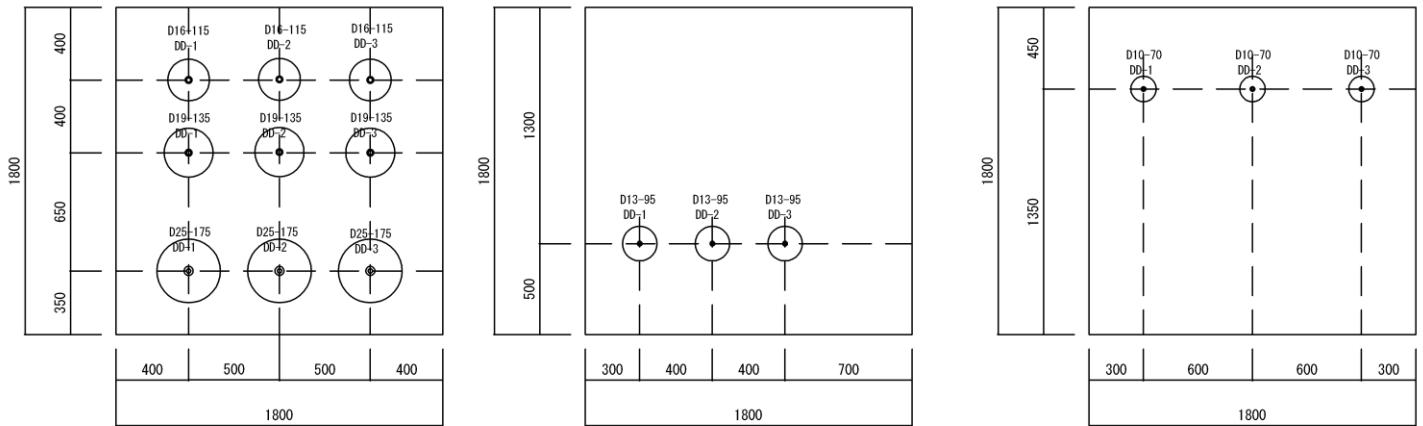
(依頼者提出資料)

単位 mm

NO. 17

NO. 18

NO. 19



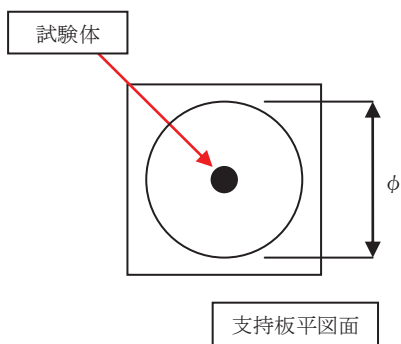
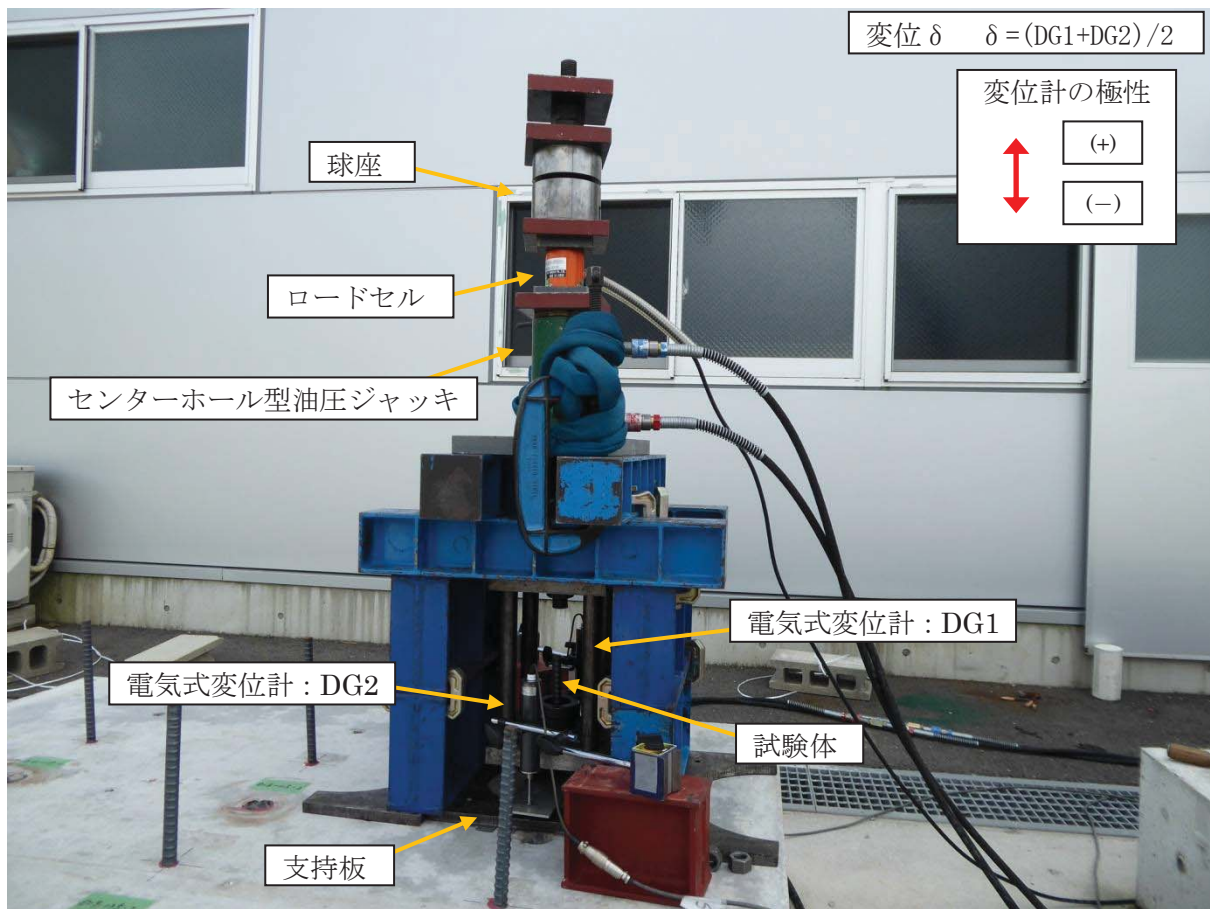
※図中の○は、支持板の非拘束範囲を示す。

図-2 アンカーの埋め込み位置

(依頼者提出資料)

表-1 母材コンクリートの配(調)合

呼び強度	打設日	母材 コンクリート 記号 No.	単位量 kg/m <sup>3</sup>				
			セメント	水	細骨材	粗骨材	混和剤
			普通		砕砂	砕石	
24	平成28年10月7日	17, 18, 19	288	167	921	960	2.02



支持板

試験体記号	φ (mm)
D10-70DD	270
D13-95DD	270
D16-115DD	270
D19-135DD	330
D25-175DD	390

写真-1 試験実施状況